

## 岩手県における「シャインマスカット」の成熟に要する積算温度

### 【1 成果の概要】

- (1) 「シャインマスカット」の栽培において、満開日から成熟期までの積算温度と果実糖度には高い相関が認められます（図1）。
- (2) 10aあたりの収量を1.5tとした場合、満開日以降の積算温度が2,200℃に達した頃に、果実の糖度は収穫期の目安となる18度になります（図1、表1）。
- (3) 上記の温度条件は、簡易雨よけ栽培（トンネルメッシュ被覆）の他、無加温ハウス栽培においても適用できます。

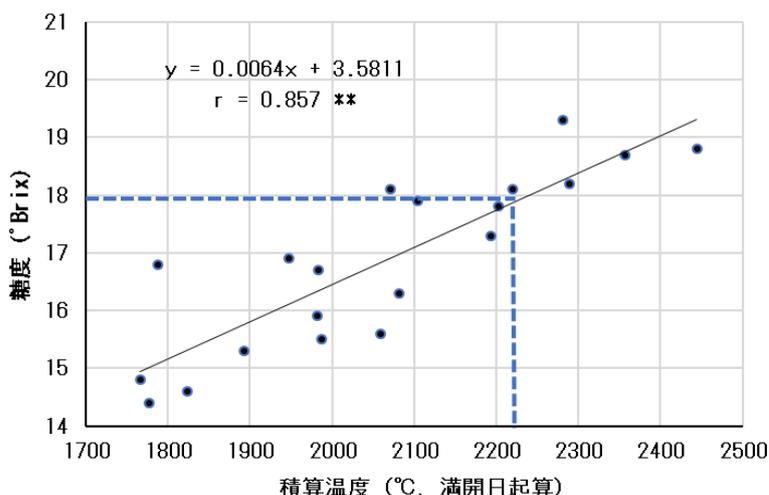


図1 成熟期における積算温度（満開日起算）と糖度の関係（H25～R3、農業研究センター簡易雨よけ栽培）

表1 収穫期のデータ（H25～R3の平均±標準偏差、農業研究センター）

収穫日(月/日)	満開日以降の積算温度(°C)	糖度(° Brix)	収量(t/10a)
9/29±8.7	2,201±152	17.8±1.1	1.5±0.2

### 【2 留意事項】

- (1) 花巻市の温度データでは、満開日以降の積算温度2,200℃は例年9月下旬頃に到達しますが、10月中旬まで到達しない年もあります。
- (2) 収穫量が多いと糖度が低い傾向がありますので、高品質安定生産のためには、収量は1.5t/10a程度とします。

※本研究の一部は、栽培マニュアルプラットフォーム実証業務(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託事業)により実施しました